



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東  
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	6,422	△33.8	418	△71.2	354	△74.5	405	△53.6
28年3月期第2四半期	9,707	90.0	1,450	190.3	1,388	170.0	874	139.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 365 百万円 (△57.8%) 28年3月期第2四半期 867 百万円 (138.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.04	—
28年3月期第2四半期	38.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	35,469	15,129	42.7
28年3月期	36,624	14,965	40.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,129 百万円 28年3月期 14,965 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	9.0	17.0
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当につきましては、平成27年7月21日を基準日とする剰余金の配当(1株当たり8円)を、平成27年8月27日に行いました。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	△22.5	1,064	△34.6	1,025	△32.9	656	△36.2	29.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	22,500,000株	28年3月期	22,500,000株
29年3月期2Q	4,521株	28年3月期	4,521株
29年3月期2Q	22,495,479株	28年3月期2Q	22,495,641株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日)におけるわが国経済は、政府による各種政策効果もあって、景気はこのところ弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続きました。ただし、アジア新興国や資源国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクをはらんでおります。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性のたかまりや金融資本市場の変動の影響が懸念されます。

当社グループの主要マーケットとなる遊技場業界は、「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ機」の回収・撤去を見込むなど適正な射幸性の実現に向けた自主規制に伴って生じる経営への影響や、パチンコ遊技機入れ替えが優先となること等から、遊技機周辺設備に対する投資姿勢に抑制的な状況が見られました。

このような事業環境の中、当社グループは、機器事業の周辺設備機器は、メンテナンスフリーを実現した『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と多岐な貸し玉単価の設定をスマートに実践する『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。

なお、パチスロ機の販売が予想値を著しく下回ったこともあって機器事業全体の収益は前期実績値を下回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

福祉介護事業は、有料老人ホーム等の施設を運営する株式会社アルプスの社の全株式を売却譲渡しておりますので、連結の範囲から除外しております。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川県内の太陽光発電所2箇所(発電能力合計4メガワット)に加え、前会計年度の第3四半期から栃木県内に太陽光発電所(発電能力20メガワット)を稼働させております。

コンテンツ事業は、連結子会社2社/株式会社インターグロー、及び株式会社レッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行っております。

その他の事業は、前会計年度の第4四半期から連結の範囲に含めた妙高酒造株式会社が主として酒造・酒販事業を行っております

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,422百万円(前年同期比33.8%減)、経常利益354百万円(前年同期比74.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益405百万円(前年同期比53.6%減)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (機器事業)

機器事業は、当第2四半期は売上高4,991百万円(前年同期比40.5%減)、セグメント利益442百万円(前年同期比72.5%減)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、当第2四半期は売上高347百万円(前年同期比21.9%増)、セグメント利益166百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

#### (福祉介護事業)

福祉介護事業は、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社アルプスの社の全株式を譲渡したため連結の範囲から除外したことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を報告セグメントから除外いたしました。

#### (電気事業)

電気事業は、当第2四半期は売上高569百万円(前年同期比441.7%増)、セグメント利益155百万円(前年同期比508.2%増)となりました。

なお、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成27年11月2日)において、栃木太陽光発電所の売電を開始しております。

#### (コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第2四半期は売上高401百万円(前年同期比27.2%減)、セグメント損失30百万円(前年同期は29百万円の利益)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、売上高112百万円、セグメント損失20百万円となりました。

なお、その他事業は妙高酒造株式会社が運営する酒造・販売事業を「その他事業」としており、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より報告セグメントとしております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(平成28年3月31日)に比べ1,155百万円減少し、35,469百万円となりました。

なお、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社アルプスの杜の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ207百万円増加し、15,362百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加(85百万円増)、電子記録債権の増加(409百万円増)、商品及び製品の増加(165百万円増)、仕掛品の増加(87百万円増)、その他に含まれる前渡金の増加(155百万円増)の一方で、原材料の減少(106百万円減)、その他に含まれる未収入金の減少(225百万円減)及び未収消費税等の減少(360百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,362百万円減少し、20,106百万円となりました。これは主に連結範囲の変更等による建物及び構築物の減少(149百万円減)、機械装置及び運搬具の減少(320百万円減)、有形固定資産その他に含まれるリース資産の減少(481百万円減)、のれんの減少(235百万円減)、投資その他に含まれる差入保証金の減少(140百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,318百万円減少し、20,340百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少(136百万円減)、長期借入金の減少(910百万円減)、長期預り保証金の減少(122百万円減)、連結の範囲の変更等によるリース債務の減少(505百万円減)の一方で、支払手形及び買掛金の増加(427百万円増)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ163百万円増加し、15,129百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(203百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は42.7%と前連結会計年度末に比べ1.8ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における四半期財務諸表への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,957,080	6,986,809
受取手形及び売掛金	2,228,964	2,314,193
電子記録債権	915,767	1,325,072
商品及び製品	865,248	1,030,296
仕掛品	529,398	617,334
原材料	1,929,543	1,823,117
コンテンツ	32,398	21,683
繰延税金資産	177,454	89,984
その他	1,521,598	1,157,364
貸倒引当金	△2,286	△3,104
流動資産合計	15,155,166	15,362,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,319,266	4,169,851
機械装置及び運搬具(純額)	5,427,957	5,107,106
土地	9,236,366	9,220,992
その他(純額)	685,362	210,555
有形固定資産合計	19,668,953	18,708,505
無形固定資産		
ソフトウェア	58,522	50,888
のれん	328,101	92,748
その他	18,494	18,393
無形固定資産合計	405,118	162,029
投資その他の資産		
投資有価証券	288,786	260,886
長期貸付金	486,720	525,720
繰延税金資産	30,015	19,185
長期前払費用	405,823	409,034
その他	444,786	304,241
貸倒引当金	△260,899	△282,899
投資その他の資産合計	1,395,233	1,236,168
固定資産合計	21,469,304	20,106,704
資産合計	36,624,471	35,469,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,333,476	2,761,128
短期借入金	1,170,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	2,203,458	2,197,550
未払法人税等	198,947	62,686
賞与引当金	54,842	52,220
製品保証引当金	16,000	13,000
返品調整引当金	2,816	2,777
その他	549,709	513,699
流動負債合計	6,529,249	6,773,061
固定負債		
長期借入金	12,831,705	11,921,205
リース債務	532,427	26,917
繰延税金負債	31,191	12,266
役員退職慰労引当金	502,939	508,117
退職給付に係る負債	54,277	43,908
長期預り保証金	849,114	726,498
資産除去債務	326,431	328,261
その他	1,536	—
固定負債合計	15,129,623	13,567,174
負債合計	21,658,873	20,340,236
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,232,485	13,436,302
自己株式	△4,237	△4,237
株主資本合計	14,908,847	15,112,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,750	16,556
その他の包括利益累計額合計	56,750	16,556
純資産合計	14,965,597	15,129,221
負債純資産合計	36,624,471	35,469,457



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,707,682	6,422,466
売上原価	6,863,540	4,994,905
返品調整引当金繰入額	2,387	△39
売上総利益	2,841,754	1,427,600
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	156,527	107,161
販売促進費	351,045	61,535
役員報酬	118,372	116,974
給料手当及び賞与	141,159	156,977
賞与引当金繰入額	23,250	24,043
退職給付費用	12,679	18,681
役員退職慰労引当金繰入額	30,419	5,177
製品保証引当金繰入額	18,000	13,000
貸倒引当金繰入額	△11,482	925
その他	550,944	504,713
販売費及び一般管理費合計	1,390,914	1,009,189
営業利益	1,450,840	418,410
営業外収益		
受取利息	1,824	3,099
受取配当金	5,420	5,420
その他	25,224	25,619
営業外収益合計	32,469	34,139
営業外費用		
支払利息	52,326	50,249
貸倒引当金繰入額	20,000	22,000
その他	22,179	26,269
営業外費用合計	94,505	98,519
経常利益	1,388,803	354,031
特別利益		
固定資産売却益	85,453	—
子会社株式売却益	—	228,764
特別利益合計	85,453	228,764
特別損失		
固定資産除売却損	15,488	0
リース解約損	—	2,108
特別損失合計	15,488	2,108
税金等調整前四半期純利益	1,458,768	580,686
法人税、住民税及び事業税	516,969	77,305
法人税等調整額	67,211	97,553
法人税等合計	584,181	174,859
四半期純利益	874,587	405,826
親会社株主に帰属する四半期純利益	874,587	405,826

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	874,587	405,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,521	△40,194
その他の包括利益合計	△7,521	△40,194
四半期包括利益	867,066	365,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	867,066	365,632

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,458,768	580,686
減価償却費	257,615	515,993
のれん償却額	28,163	8,431
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,517	22,925
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,865	878
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,852	5,292
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	30,419	5,177
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	2,387	△39
受取利息及び受取配当金	△7,244	△8,520
支払利息	52,326	50,249
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△228,764
有形固定資産売却損益 (△は益)	△85,453	—
売上債権の増減額 (△は増加)	219,602	△366,407
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△672,708	△147,832
仕入債務の増減額 (△は減少)	973,840	446,952
前渡金の増減額 (△は増加)	△25,405	△155,420
その他	451,946	226,649
小計	2,692,765	953,252
利息及び配当金の受取額	7,244	8,520
利息の支払額	△51,544	△49,990
法人税等の支払額	△336,492	△195,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,311,972	716,670
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△95,455	△635,476
有形固定資産の売却による収入	522,116	7,511
無形固定資産の取得による支出	△5,683	△2,488
貸付けによる支出	△70,000	△44,000
貸付金の回収による収入	27,999	4,999
子会社株式の取得による支出	—	△30,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,138,481
その他	△18,576	△7,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	360,401	431,416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,296,000	—
長期借入れによる収入	1,800,000	2,035,000
長期借入金の返済による支出	△1,102,726	△2,951,408
自己株式の取得による支出	△45	—
配当金の支払額	△178,332	△201,949
財務活動によるキャッシュ・フロー	△777,103	△1,118,357
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,895,270	29,729
現金及び現金同等物の期首残高	6,382,467	6,957,080
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	297,145	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,574,883	6,986,809

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	福祉介護事業	電気事業	コンテンツ事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	8,383,275	285,499	382,745	105,153	551,008	9,707,682	—	9,707,682
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12,340	14,700	—	—	83,333	110,373	△110,373	—
計	8,395,615	300,199	382,745	105,153	634,341	9,818,056	△110,373	9,707,682
セグメント利益又は損失(△)	1,608,416	161,020	△47,958	25,486	29,148	1,776,113	△325,272	1,450,840

(注) 1 セグメント利益の調整額 △325,272千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	4,991,509	347,903	569,593	401,025	112,433	6,422,466	—	6,422,466
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	22,080	—	52,821	314	75,216	△75,216	—
計	4,991,509	369,983	569,593	453,847	112,748	6,497,683	△75,216	6,422,466
セグメント利益又は損失(△)	442,560	166,125	155,003	△30,330	△20,404	712,954	△294,543	418,410

(注) 1 セグメント利益の調整額△294,543千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました、株式会社アルプスの杜の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における当該事象によるのれんの減少額は、報告セグメントから除外した「福祉介護事業」における226,921千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社アルプスの杜の全株式を譲渡したため連結の範囲から除外したことに伴い、同社が運営する「福祉介護事業」を報告セグメントから除外いたしました。